

令和6年度



行田市の地域福祉をつくる

ささえあいミーティング

# 次 第

- 1 開会・あいさつ
- 2 ささえあいミーティングについて  
(作業内容説明を含む)
- 3 作業
- 4 まとめ・発表
- 5 閉会

# 行田市の概況

< 令和 6 年 6 月 1 日現在 >

○人口 78,199人

○65歳以上人口25,813人

(高齢率33.01%)

○障害者手帳交付者 3,838人

(身体) 2,320人 (療育) 717人 (精神) 833人

○将来人口及び将来高齢化率

2030年(令和12) 人口69,165人

65歳以上人口(24,723人(高齢化率35.7%))

(彩の国統計情報館)



# ささえあいミーティング

## ○目的 1

- ・社会福祉協議会は、社会福祉法において地域福祉の推進組織として位置づけられており、その**使命・役割は「住民主体」の原則を基に、地域の生活課題を発掘・共有化し、その課題解決を住民と共にはかっていくことにあります。**こうした中で、社会福祉協議会がその使命を果たすために必要な**大きな羅針盤**ともいえるものが「地域福祉活動計画」の策定です。
- ・計画の策定は、「住民主体」で地域福祉を推進するための根幹をなす極めて重要な取り組みであるといえ、計画策定を通して住民の福祉活動を支援していくことが社会福祉協議会の役割です。

# ささえあいミーティング

## ○目的 2

- ・平成27年度からは**行田市の「行田市地域福祉計画」と行田市社会福祉協議会の「行田市地域福祉活動計画」**を「**行田市地域福祉推進計画**」として一体的に策定をしています。

- ・「地域福祉推進計画」は、住民の住み慣れた地域での生活ニーズ、福祉課題を基本として策定されるものです。“ニーズ把握”と言えばアンケート調査が一般的だと思われがちですが、それだけでは援助を必要としている住民・当事者の生活ニーズ、福祉課題は見えてきません。そこでニーズ把握の手法をその地域の実情に合わせて行い、地域の福祉課題を発見・共有することを目的として「ささえあいミーティング」を開催いたします。



地域福祉推進計画

地域福祉計画

行 田 市

地域福祉活動計画

社会福祉協議会



地域住民の声

# 内 容

・「ささえあいミーティング」は、自由な意見を語ってもらう場であり、同じ地区に暮らす住民同士が地域の将来像や夢を語り合い、地域の生活ニーズ・福祉課題に気づき、共有を図る場となります。

・そして、住民が抱く福祉課題やニーズを引き出し、出された意見が「個別のものなのか」、「普遍性をもつものなのか」、「地域性をもつものなのか」、「すぐに対応が可能なのか」、「十分な検討が必要なのか」、あるいは、行政、社会福祉協議会・ボランティア、地域（地区）など、「誰を主体にして対応していくのか」など、多様な視点で整理・分析し、地域の課題解決に向けた手立てや方向性を考える材料となります。

# ささえあいミーティングの進め方

- ・参加者全員で考え、意見を出し合い、一定の合意を作っていく。

- ・各自が付箋1枚につき、1つのことを書いていく。
- ・慣れてきたら、枚数を増やしていく。

①私たちの地域で必要なもの・  
困っていること  
【地域課題の共有】

③私たちの地域では、これならでき  
るもの【共助】

②私たちは、これならできるこ  
と【自助】

④ここを解決してもらいたい  
【公助】

⑤地区の目標 【課題解決に向けた取り組み】

1

地区の主な課題

- ・近所の人や地域の人とつながりを持たず、孤立している家庭がある。
- ・高齢者が増える一方で、若者が自治会活動に消極的なため、地域活動が成り立たない。  
(祭ができない、役員の担い手がいないなど)
- ・隣近所だけでは、高齢者を支えられなくなっている。
- ・ごみ出しや犬の糞のマナーが守られていない。
- ・スーパーがなくなり買い物に困っている。

地域福祉推進計画（令和2年度）より

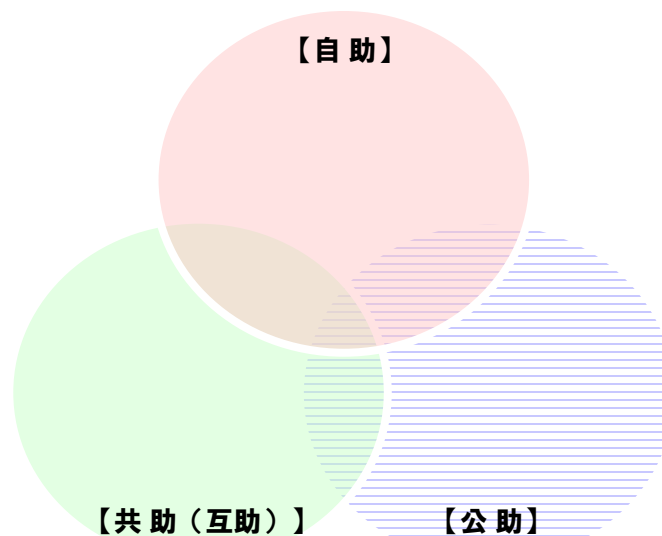
- ・近所との交流が少ない。
- ・世代間の交流が少ない。
- ・買い物に行くのに不便を感じている。
- ・緊急時にどうしたらよいかわからない。

行田市地域福祉・地域福祉活動に関する調査（令和5年度）より

【新規課題】

2

課題解決のために何ができるか？どんなことが必要か？



3

地区の目標の設定（取組みの方向性）

## 地区の主な課題

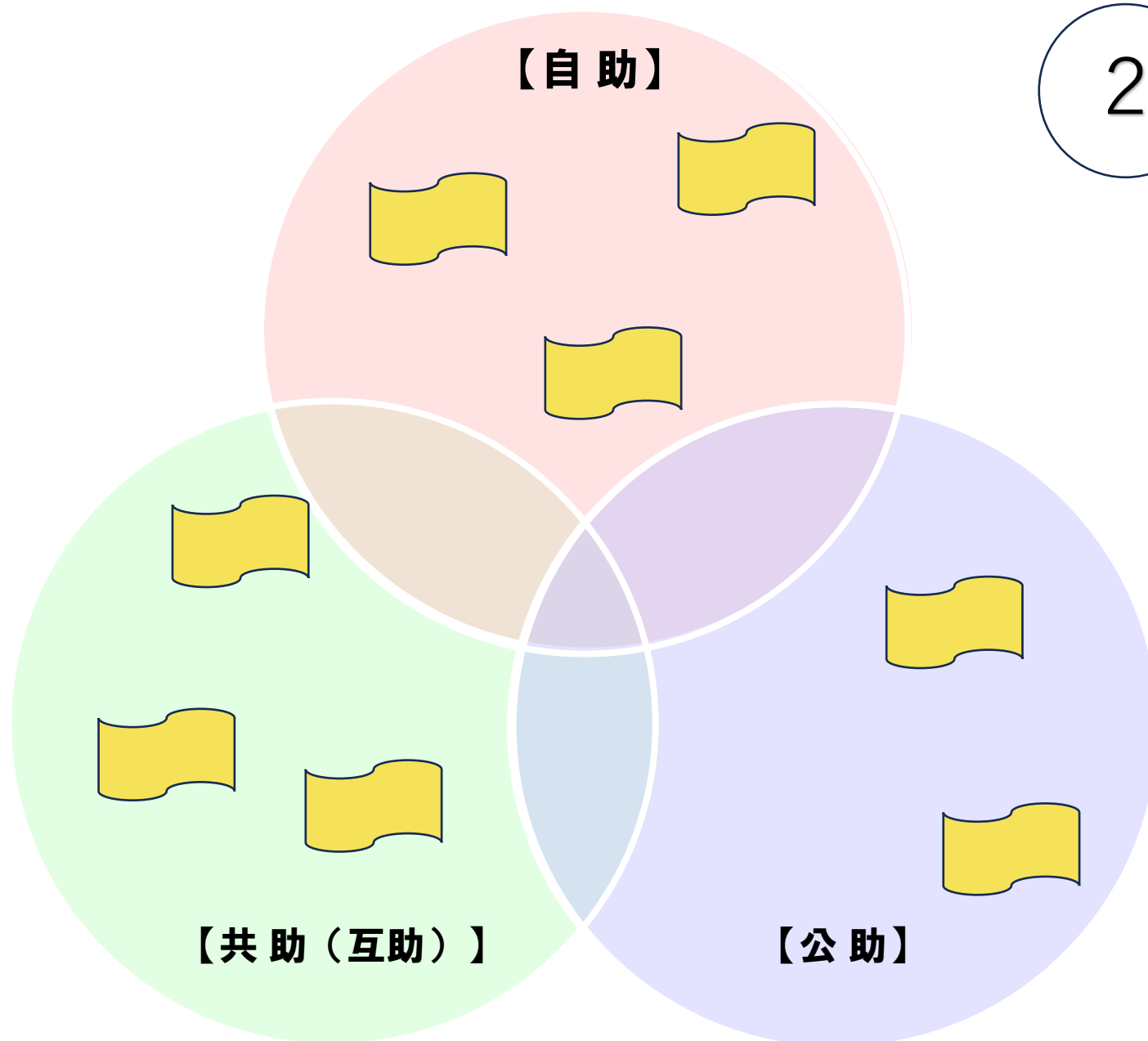
- 近所の人や地域の人とつながりを持たず、孤立している家庭がある。
- 高齢者が増える一方で、若者が自治会活動に消極的なため、地域活動が成り立たない。（祭ができない、役員の担い手がいないなど）
- 隣近所だけでは、高齢者を支えられなくなっている。
- ごみ出しや犬の糞のマナーが守られていない。
- スーパーがなくなり買い物に困っている。

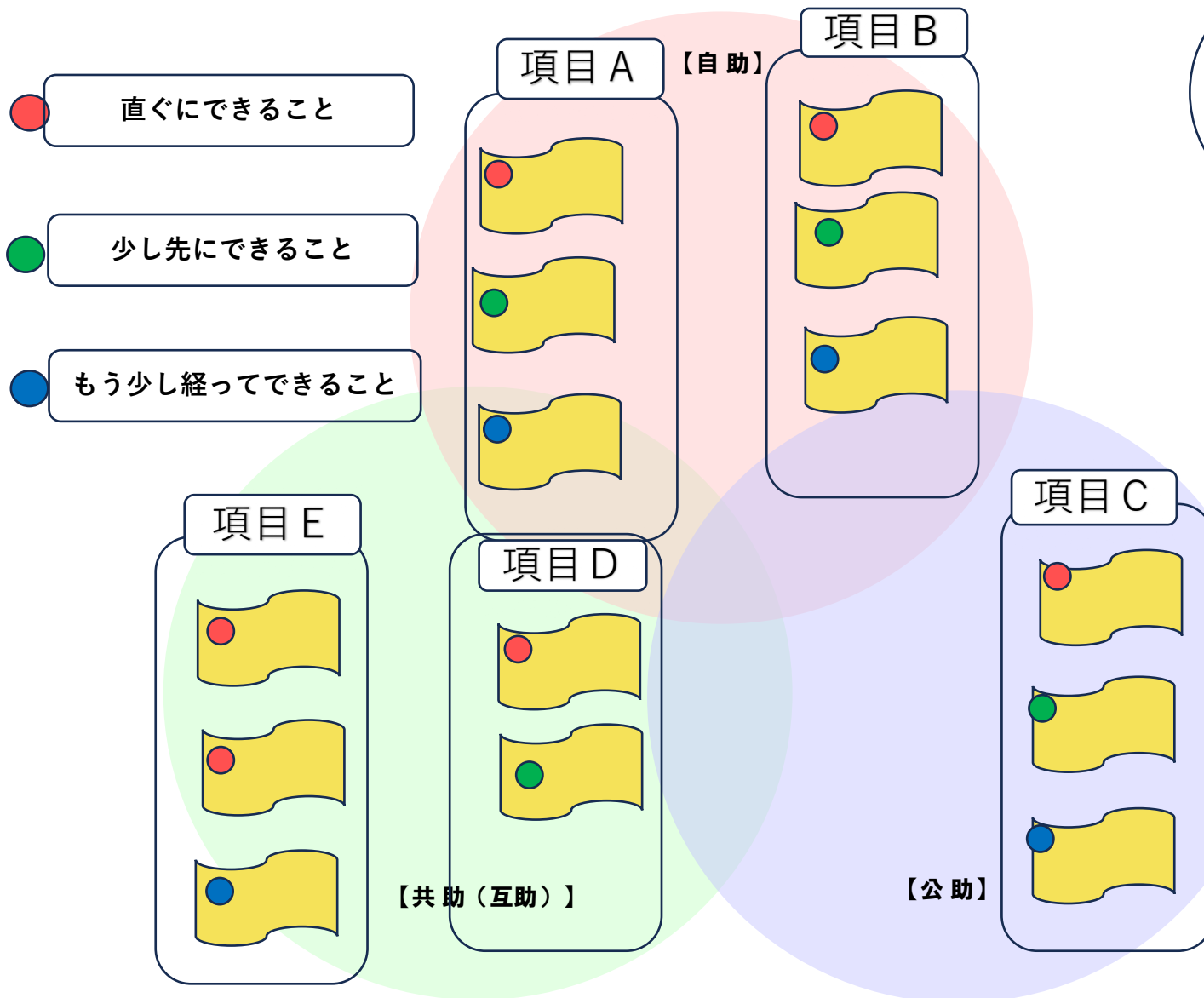
地域福祉推進計画（令和2年度）より

- 近所との交流が少ない。
- 世代間の交流が少ない。
- 買い物に行くのに不便を感じている。
- 緊急時にどうしたらよいかわからない。

行田市地域福祉・地域福祉活動に関する調査（令和5年度）より

【新規課題】





### 地区の目標の設定（取組みの方向性）

# まとめ

## 発表

### 地区の主な課題

- ・近所の人や地域の人とつながりを持たず、孤立している家庭がある。
- ・高齢者が増える一方で、若者が自治会活動に消極的なため、地域活動が成り立たない。  
(祭ができない、役員の担い手がいないなど)
- ・隣近所だけでは、高齢者を支えられなくなっている。
- ・ごみ出しや犬の糞のマナーが守られていない。
- ・スーパーがなくなり買い物に困っている。

地域福祉推進計画（令和2年度）より

- ・近所との交流が少ない。
- ・世代間の交流が少ない。
- ・買い物に行くのに不便を感じている。
- ・緊急時にどうしたらよいかわからない。

行田市地域福祉・地域福祉活動に関する調査（令和5年度）より

【新規課題】

課題解決のために何ができるか？どんなことが必要か？

【自助】

【共助（互助）】

【公助】

地区の目標の設定（取組みの方向性）

作業開始にあたり

簡単な自己紹介

地区・名前・役職など

